

## 取扱いの趣旨

葉酸は、葉酸値の異常が直接的な原因でない甲状腺機能亢進症等に対する算定は、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

### 【検査】

《令和6年4月30日》

#### 136 葉酸の算定について

##### ○ 取扱い

① 次の傷病名に対するD007「41」葉酸の算定は、原則として認められる。

(1) 大球性貧血 (2) 巨赤芽球性貧血（疑い含む。） (3) 葉酸欠乏症

② 次の傷病名に対するD007「41」葉酸の算定は、原則として認められない。

(1) 甲状腺機能亢進症（疑い含む。） (2) 溶血性貧血（疑い含む。） (3) 汎血球減少症（疑い含む。）

##### ○ 取扱いを作成した根拠等

葉酸は、ビタミンB12とともに、増殖細胞におけるDNA合成の円滑な進行に不可欠な物質であり、欠乏するとDNA合成の障害、特に骨髓造血機能の異常（巨赤芽球性貧血）を呈す。

巨赤芽球性貧血はビタミンB12又は葉酸の不足を原因とし、大球性貧血をきたす貧血であり、葉酸の測定は、巨赤芽球性貧血、大球性貧血、葉酸欠乏症の診断や治療に必要である。

以上のことから、大球性貧血、巨赤芽球性貧血（疑い含む。）、葉酸欠乏症に対する当該検査の算定は、原則として認められると判断した。

なお、葉酸は溶血性貧血や葉酸の需要が増大する甲状腺機能亢進症において低値を示すことがあり、また、巨赤芽球性貧血では、進行すると好中球や血小板も減少し汎血球減少症をきたすこともある。

しかしながら、溶血性貧血（疑い含む。）、甲状腺機能亢進症（疑い含む。）、汎血球減少症（疑い含む。）については、葉酸値の異常が直接的な原因ではなく、測定の必要性は乏しいため、当該検査の算定は原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、  
査定・返戻となった割合

#### 【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

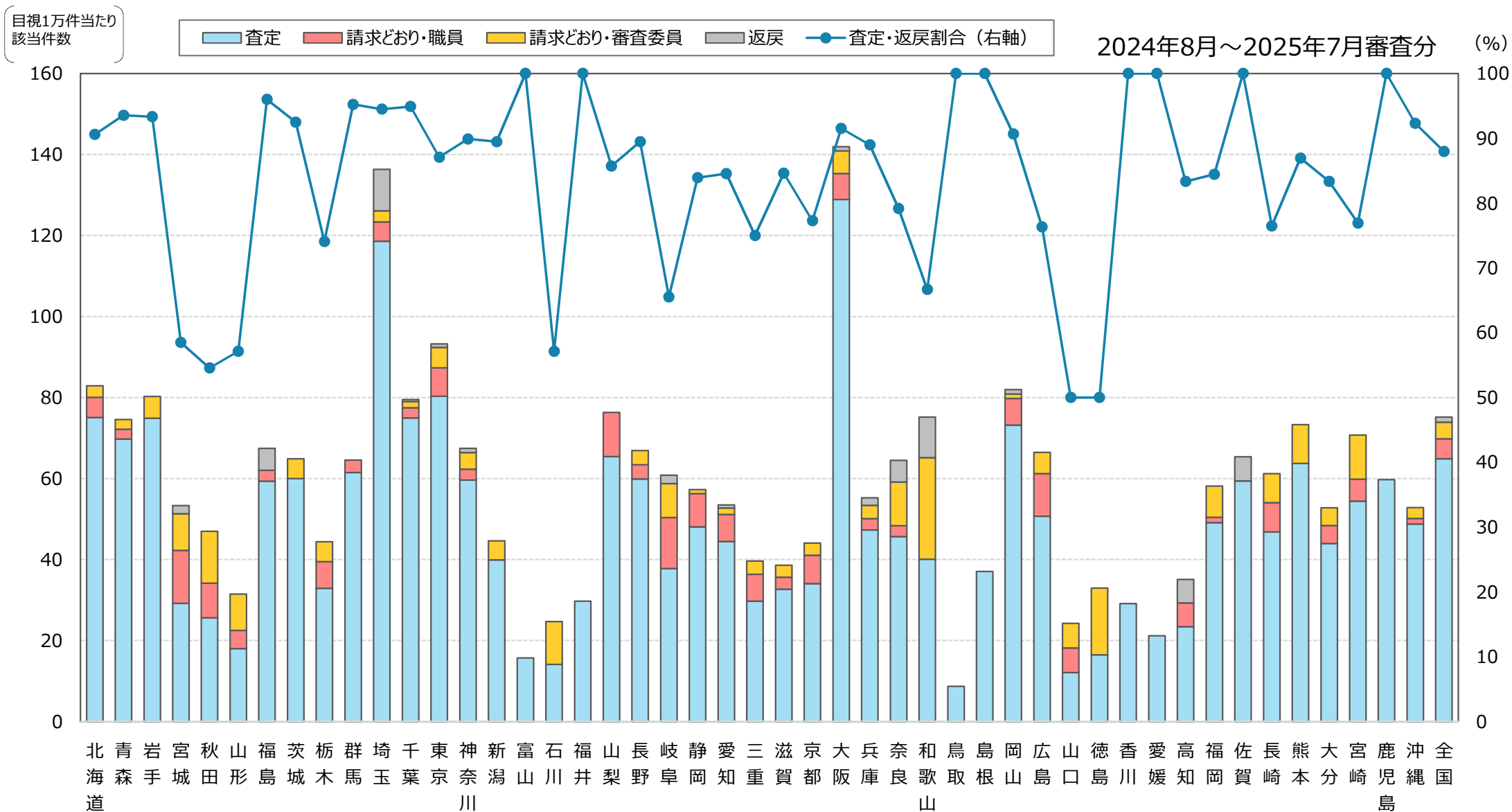
## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 87.97%
- 検証対象都道府県 18

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	徳島、秋田、山形、石川、宮城、岐阜、和歌山、栃木、広島、長崎、宮崎、京都、奈良、静岡、愛知、山梨	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮城、岐阜、山梨、広島、秋田、静岡、長崎、京都、東京、愛知、栃木、宮崎、山形、兵庫、奈良	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	和歌山、徳島、秋田、宮崎、奈良、石川、宮城、山形、岐阜、長崎、広島、東京、栃木、兵庫、京都、愛知	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,701件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,376件
検証を必要とする審査	請求どおり	325件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数